

令和8年度一般選抜（前期日程）
教育学部 外国語（英語）出題意図

それぞれの設問を通して、以下に述べるような点に関する受験者の能力をみようとしている。

問Ⅰ 及び 問Ⅱ

まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得たり、概要・要点をまとめたりすることができるか。

問Ⅲ

- (1) 与えられたテーマについて、ある程度まとまった量の英文を書くことができるか。
- (2) 自分の考えを論理的に構成して書くことができるか。
- (3) メッセージを効果的に伝えるのに必要な語彙・文法・句読法を習得しているか。

令和8年度一般選抜（前期日程）

教育学部 外国語（英語） 解答例

I

1. 海面、海中のいずれにおいても海洋生物を脅かす幽霊漁網として知られる、紛失した、あるいは遺棄された漁具。
2. 紛失した、あるいは海に遺棄された漁具、漁網が、その後も何年にもわたって、海洋生物にダメージを与え続けること。
3. オーストラリアの海岸に流れ着く漁網の95パーセントが他の国からのものと推測されることから分かるように、紛失した、あるいは遺棄された漁具、漁網が、海流に乗って国境を越えて長距離を移動することがあり得ること。
4. 「幽霊漁業」の問題を漁業関係者に周知するとともに、漁具を海で紛失したことを報告すること、および海で見つけた漁網を回収することに関し、漁師たちに報奨を与えること。
5. 漁具にトランスポンダーを付け、GPSを用いて、漁具が失われた正確な位置を示すことが出来るようになる。海底のイメージング(画像化)によって、船舶が海中の障害物を避けることが出来、最新の気象観測装置に頼ることで荒れた海を避けて航行することも可能となる。また生物分解性の漁具という最新技術による解決策もあり、これは長期間水中に置かれると分解するような海洋生物にとっての「脱出口」を備えている。

II

1. 元々の目標値は、食品製品業やフードサービス業界などの事業ロスを、2000年度の547万トンから半減させることであったが、新しい目標は6割減らすことである。新たな目標を設定したのは、元々の目標値を2022年度に前倒しで達成したためである。
2. 食品業界にある、製造から賞味期限までの期間の3分の1を過ぎると小売店に納品できないという慣例。
3. 「食べ物をどこに寄付すれば良いかわからない」という問題や食中毒などに関する懸念に対応できる体制を作ること。
4. 食べ物の寄付が不足しているという問題を抱えている。まだ食べられる食品を子ども食堂に寄付することがその問題の解決に役立つし、それはフードロスを減らすことにもつながると考えられる。
5. 消費者が食べ残さないことに加えて、店側も小盛りなどの注文に柔軟に対応する。

III

解答例は提示しない。